

## 小児医療

茨城県の小児科医数は、平成 24 年 12 月末現在（医師・歯科医師・薬剤師調査）で 279 人であり、人口 10 万人対では 9.5 と全国平均の 12.8 を大きく下回っており、全国最下位です。

小児科は、時間外の対応の多さや不採算性が高い科目と言われ、全国の傾向と同様、茨城県においても、小児科を標榜する医療施設は年々減少しています。

また、近年、子どもを大切に育てたいという保護者の意識の高まりとともに、専門医志向、病院志向の傾向が強くなり、特に、休日・夜間、小児救急外来を設けている病院に患者が集中し、その多くを軽症患者が占める傾向があります。

### 一般病床数、小児科標ぼう病院数の推移

区分		平成 10 年	平成 16 年	平成 18 年	平成 20 年	平成 22 年	平成 24 年	平成 27 年
茨城県	一般病床数	196	181	181	171	164	162	159
	小児科標榜 病院数	104	91	92	86	81	78	72
全国	一般病床数	8,266	7,999	7,870	7,714	7,587	7,493	7,416
	小児科標榜 病院数	3,720	3,231	3,075	2,905	2,808	2,702	2,642

「医療施設調査・病院報告（厚生労働省）」より

## 小児科医師数の推移

区分		平成 10年	平成 14年	平成 16年	平成 18年	平成 20年	平成 22年	平成 24年
茨 城 県	小児科医 師数(人)	225	224	244	231	245	249	279
	人口10万 人当たり (人)	7.5	7.5	8.2	7.8	8.3	8.4	9.5
全 国	小児科医 師数(人)	13,989	14,481	14,677	14,700	15,236	15,870	16,340
	人口10万 人当たり (人)	11.1	11.4	11.5	11.5	11.9	12.4	12.8

「医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）」より

圏域内における休日・夜間の診療体制では、夜間の小児医療を実施しているところが少なく、不足している状況です。また、医師の高齢化も深刻となっており、休日夜間診療所の当番医の確保にも支障をきたしており、地元の医師会会員の他に大学病院や県立こども病院からの派遣協力を受け、その運営を維持している状況にあります。

今後、新規開業がなければ、10年後には70歳を超える医師も多くなり、小児科の運営はできなくなる可能性もあります。

私たちが未来につなぐ子どもたちを産み育てるためには、休日夜間診療所、小児医療機関ともに必要不可欠な存在であり、運営を維持するためには、医師の負担を減らすということが重要なのです。そのために圏域住民ができることは、救急医療と同様に、ガイドブックやセミナーを通して小児医療に関する知識等を持ち、適正受診を心掛けるということであり、皆さんの協力が必要となります。